TEI 鼎談 DAN
学問と職業のカンケイから、大学進学を考える本
あなたは、まだ何にだってなれる。

順天堂大学 医療看護学部

5学部と6つの医学部附属病院群を持つ順天堂大学。その起源は1838年開業の、蘭学医学塾『和田塾』。学是である「仁」の精神（人在りて我あり、他を思いやり、慈しむ心）を基盤に、医療看護学部では「心身を癒す看護」を実践できる看護専門職者を育成しています。

■大学生
手塚みき さん

■先生
工藤綾子 先生

■卒業生
竹島愛美 さん

CONTENTS

●プロフィール　●大学生活について　●就職活動、仕事について
●5年後に向けて　●高校生へのアドバイス

●プロフィール

順天堂大学医療看護学部の特徴を教えてください。

■先生
一番の特徴は、医療看護学部のほか、医学部、スポーツ健康科学部、保健看護学部、国際教養学部の５学部と、３大学院、そして６つの附属病院を持つ「健康総合大学」の中の医療看護学部だということです。５学部と大学院、附属病院が密接に連携して行われる看護学教育は「人の健康」を総合的に支えています。特に６つの附属病院があることは、多様でより深い実習を可能にしてくれています。これは、順天堂大学の大きな強みです。

■卒業生
医学と看護、そしてスポーツが揃ってる大学は少ないと思います。

■先生
長い歴史の中で、ずっと教員と附属病院は密接に連携してきました。ですから、現場が学生の臨床指導に関わってくれるシステムがしっかりとでき上がっています。学生のカンファレンスや反省会にも参加していただき、より良い指導の方法を常に話し合っています。ここまで附属病院の協力体制を整えているところは、他にあまり見られないのではないでしょうか？

■大学生
確かに実習では、きめ細やかに教えていただいています。医学部との合同実習ができるのも総合大

学ならではの魅力だと思います。

合同実習のメリットについて教えてください。

■大学生

他学部の学生と一緒に実習を行う授業ですが、他学部の学生の考え方や学びの内容を知ることができ、視野や考え方の幅が広がります。同じ学部の学生は、やはり価値観や考え方が似ているところがあるのですが、他学部の学生と話すとそういう考え方もあるのだと驚くことも多いですね。実習などでも考え方の違いを感じることがあります。例えば、同じ実習でも、医学部と医療看護学部の私たちでは、そもそもアプローチが違います。病気に対して、医学部の学生はどう治療すればいいのかを考えます。ですから症状や薬の効き方などを学ぶわけですが、私たちは日々の生活という視点を入れて病気について学びます。つまり、患者さんが病気を抱えながら、よりよく生活を送るにはどうするか、あるいは完治して社会生活に復帰するためにどうするかを考えます。病気に対して、患者に対して、考え方が全く違うわけで、この違いを知ってこそ、私たちが将来チーム医療の一員として働く重要性を理解できるのだと思います。

先生が研究されている分野について教えてください。

■先生

私の専門は「高齢者看護学」です。そこから始まって高齢者が最も被害を受けやすい「災害看護」や「感染症対策」などについての研究も行っています。高齢者看護学は、少子高齢化が進む中で、これからなすべきことが沢山ある分野です。災害が起こると、看護の現場で直面する問題が、高齢者、障碍者、妊婦への対応です。平時に比べると、不完全な対応しかできません。まだまだ私たちが考えること、準備しておくべきことはたくさんあるのです。仮設住宅を見ても、最後まで残っているのは高齢者です。健康の心配も出てきます。そうした対策を研究し、地域や社会に提言していくことは私たちの使命だと思うのです。

●大学生活生活について

どのような学生生活、研究生活を送られていますか？

■卒業生

私は大学院で地域看護学を専攻しています。学部卒業後は医学部附属病院浦安病院の産婦人科に勤めたのですが、大学院で勉強したくて戻ってきました。こういう選択肢が取りやすいのも、順天堂大学のいいところだと思います。

■先生

産婦人科から地域看護学って、またどうして？

■卒業生

はい、もともと女性の健康、母子の健康に興味を持ったことから産婦人科を選んだのですが、突き詰めていくとこの問題は、結局家族をベースに考えないといけないと思ったのです。そして、予防が大切だということも強く感じました。そこで、家族の健康・予防をどう考え、どう進化させていくかを研究するには、地域看護学がいいだろうと判断したのです。

■大学生

私は看護学科の４年生です。就職も決まりました。看護学の学びは大変でしたけれど、有意義な４

年間を送ることができました。学習に関することはもちろんですが、部活で長距離を走っていたので、楽しい思い出もたくさんできました。箱根駅伝の応援に行ったこともよい経験になりました。

なぜ看護師になろうと思ったのですか？

■大学生

好きだったテレビドラマの影響も大いにあるのですが、母が入院した時、病院で看護師さんの仕事ぶりを見ていて、この仕事の素晴らしさを知ったことが大きいですね。看護師さんの存在が、私たち家族を支えてくれていました。

■卒業生

私も同じような経験があります。

■先生

私は看護師への憧れというよりも、これからの女性は、手に職を持って生きていかなければいけないという思いが強くあったからです。時代の違いですかね。実は、中学生の頃からデザインの世界に進みたかったのです。でも、当時は情報も少なく、どうすればその世界に行けるかわかりませんでした。その後、中学の先生との面接などを通して、看護師の仕事の魅力を知り、目指すことにしました。そして、この順天堂大学でデザインの世界に進みたかったという夢を少しだけ叶えさせていただいたのです。実習着をデザインしたのは、私なんですよ。でき上がった時は、少しときめいてしまいましたね。

■卒業生

先生、それはすごいですね。とてもいいお話です！

学生生活で大変なことはありましたか？

■大学生

今４年生ですが、あっという間でしたね。もちろん大変なことや、辛いこともたくさんありましたが、充実した時間を過ごせましたし、人間的にも成長できたと感じています。

■卒業生

順天堂大学には大学生活をサポートしてくれる「アドバイザー制度」があります。この制度があることで、私たち学生はとても助かっています。

■大学生

確かに、「アドバイザー制度」のおかげで大学生活の「大変なこと」は半減していると思います。

アドバイザー制度とは、どんなものですか？

■先生

医療看護学部では、10 人の学生ごとに一人の教員をアドバイザーとして配置しています。学生一人ひとりに対して、科目の選択や履修計画などのアドバイスから、就職や進学などの進路相談、生活面での悩みなどにもきめ細やかに対応します。この仕組みをアドバイザー制度と呼んでいます。

■卒業生

先生とのつながりも深くなって、相談もしやすい。先生方がいつも気にかけてくれていると感じるだけで、大学生活の不安はかなり解消されました。

■大学生

医療看護学部での学びは、かなり厳しいですからね。大学は、高校と違って主体的に勉強していか

ないといけない。最初はどうすればいいのか悩んでしまうこともありますから、アドバイザー制度を利用してどんどん先生に相談することが目標に近づく早道だと思います。

順天堂大学医療看護学部のいいところを教えてください。

■大学生
たくさんありますが、中でも、医療看護学部のアットホームな雰囲気は、とても私にとって居心地がよいものでした。

■卒業生
先生と学生との距離が近く、一人ひとりの学生に対する指導はとても丁寧です。

■大学生
学生自治会主催のイベントなども、とても盛り上がるんですよ。

■先生
学生の活発な自治会活動は、順天堂大学の歴史の中で培われてきた伝統の一つだと思います。新入生歓迎会、スポーツ祭、順華祭、キャンドルサービス、卒業パーティなど、学生が主体となって開催している活動は、とても多いですね。しかもそれぞれのイベントに学生が積極的に取り組んでいるので、その盛り上がり方も大変なものです。学生自身がつくり、繋いできた順天堂大学の良い校風だと思います。

●就職活動、仕事について

医療看護学部の就職活動は、どんなことをするのですか？

■大学生
病院ごとに行われる説明会や夏休みなどに行われるインターンシップに参加します。他の学部の学生と同じで、たくさん病院を回ることが基本となります。

■卒業生
そういう意味で言うと、附属病院が多いということは就職にも有利です。大学と関係の深い就職先がそれだけあるということですからね。

■大学生
私も、附属病院に就職が決まりましたが、他大学の看護学部へ通う友人と話をすると、就職活動は大変そうでした。

■卒業生
順天堂大学は歴史がありますから、卒業生も多い。附属病院以外の病院とのネットワークも実は多いのです。これも有利な環境だと思います。

■大学生
私はインターンシップも附属病院でした。これもとても有利だと思います。インターンシップは、医療の現場を学ぶ貴重な体験となります。はじめての病院だと、緊張して気軽に疑問点を質問することも難しい雰囲気になってしまいがちです。その点、附属病院でのインターンシップは実習などですでに知っている先生なので、質問もしやすいし安心感もあります。

■先生
医療看護学部の卒業時に看護師国家試験の受験資格、そして希望者は保健師、また選抜制により助

産師の国家試験受験資格を得ることができます。看護師国家試験の合格率は、過去５年の平均が99%。全国平均が 80% 後半～ 90%ですので、とても高い水準にあるといえます。保健師や助産師の合格率も、高い合格率を誇っています。

● ５年後に向けて

５年後、みなさんはどうなっていたいと思いますか？

■先生
学部の責任者としては、まずは学生が望む国家資格合格率 100%。全員が合格できるような体制づくりを目指したいですね。国家試験対策には力を入れていきたいと考えています。そして研究者としては、災害に関する研究を深めていきたいです。この分野にはまだまだ課題がたくさんあります。例えば、医療従事者自身が被災者になった場合の手当ては、現状、何も対策がなされてないに等しいのです。DMAT（災害派遣医療チーム）などに参加している医療関係者自身、厳しい環境下で対応をしていますが、自分自身も傷ついているという人もたくさんいます。そこをしっかり研究して結果を社会に還元していきたいですね。

■卒業生
私は、研究者として続けていくか、医療現場に戻るか、まだはっきりと決めていないのですが、家族の健康をベースに、女性の健康を考えていく仕事に就いていたいと思います。一次予防、二次予防などの仕組みをいかに作り、実践していくか、そんなことを考えたいですね。これからは在宅療養もどんどん増えてきます。地域で働ける医療・健康従事者の養成も重要な課題ですね。

■大学生
５年後の私は、医療現場で経験を積みながらバリバリ働いているはずです。医師に頼られ、後輩の看護師に頼られ、そして患者さんから信頼される看護師になっていたいです。

●高校生へのアドバイス

看護師を目指す高校生にアドバイスをお願いします。

■大学生
文系でも理系でも､受験で最も武器になるのは英語です｡英語はしっかり勉強してほしいと思います。毎日の授業をしっかりと聞き、一回一回のテストに真剣に取り組むことが大切です。

■先生
そうですね。勉強は積み重ねが大切です。スポーツもそうですが、毎日やるべきことをしっかりやることが良い結果につながります。毎日を大切に過ごしてほしいですね。

■卒業生
先生に頼ることも必要だと思います。わからないことは理解できるまで徹底的に質問したり、進路についても早いうちに相談したり。そのためにも高校１年生から頼れる先生、親身になってくれる先生を探しておくことが大切ですよ。

■先生
今後、看護師のニーズはますます高まります。看護のあり方も日々進歩しています。最新の看護学を学び、先端医療の現場を知っている看護師は、世界中で必要とされます。高校生のみなさん、順

天堂大学の医療看護学部で私たちと一緒に次代を担う看護師を目指してみませんか？

最後にキャンパスのおすすめポイントを教えてください

■卒業生
人気のテーマパークや浦安のショッピングセンターが近いのが魅力です。気分転換には最適なスポットです。

■大学生
通学途中に立ち寄って、テーマパークやショッピングを楽しんでいる友達も結構いますね。また、学食のメニューが豊富で、美味しいのも自慢できます。

■卒業生
麻布十番の有名な洋食屋さん「グリル満天星」が運営していて、シェフが作る定食はどれも絶品ですよ。

■大学生
日替わり定食は 330 円。グリル満天星の特製ハンバーグが出ることもあります。これはオススメです！

■先生
私もよく行きます。安くて美味しいですよね。

●インタビューに答えていただいた方々●

■先生

工藤綾子先生

順天堂大学医療看護学部看護学科教授
医療看護学部 学部長
柴田女子高等学校衛生看護科出身。放送大学教養学部生活科学コース発達と教育選考卒業、大正大学大学院人間学研究科社会福祉学専攻博士前記課程卒業。順天堂大学博士。
平成 25 年 7 月順天堂大学大学院医療看護学研究科博士後期課程感染制御特論 DO 取得、平成 21 年 4 月順天堂大学大学院医療看護学研究科感染看護教授、平成 20 年 2 月順天堂大学医療看護学部高齢者看護学教授、平成 19 年 4 月順天堂大学医療看護学部基礎看護学先任准教授、平成 19 年 4 月大学大学院医療看護学研究科看護学専攻（修士課程）准教授、平成 16 年 4 月順天堂大学医療看護学部基礎看護学助教授。

■卒業生

竹島愛美さん

順天堂大学大学院地域看護学専攻修士課程 1 年生（2017 年 4 月取材当時）
私立品川女子学院出身。順天堂大学医療看護学部看護学科卒業後、順天堂大学附属病院浦安病院産婦人科に勤務。その後、さらに大学院で地域看護学を学び研究するために順天堂大学大学院に進学し、家族の健康・予防について研究。将来は、家族の健康をベースに、女性の健康を考えていく仕事に就くことが目標。

■大学生

手塚みきさん

順天堂大学医療学部看護学科 4 年生（2017 年 4 月取材当時）
埼玉県立春日部女子高等学校出身。卒業後は順天堂大学の附属病院へ看護師として就職予定。4 年間の学びで人間的にも成長したという手塚さん。医療看護学部の勉強は大変だが、箱根駅伝の応援に行くなど、楽しい思い出もたくさんつくることができた。学んだことすべてを発揮し、医師に頼られ、患者さんから信頼される看護師になるのが目標。